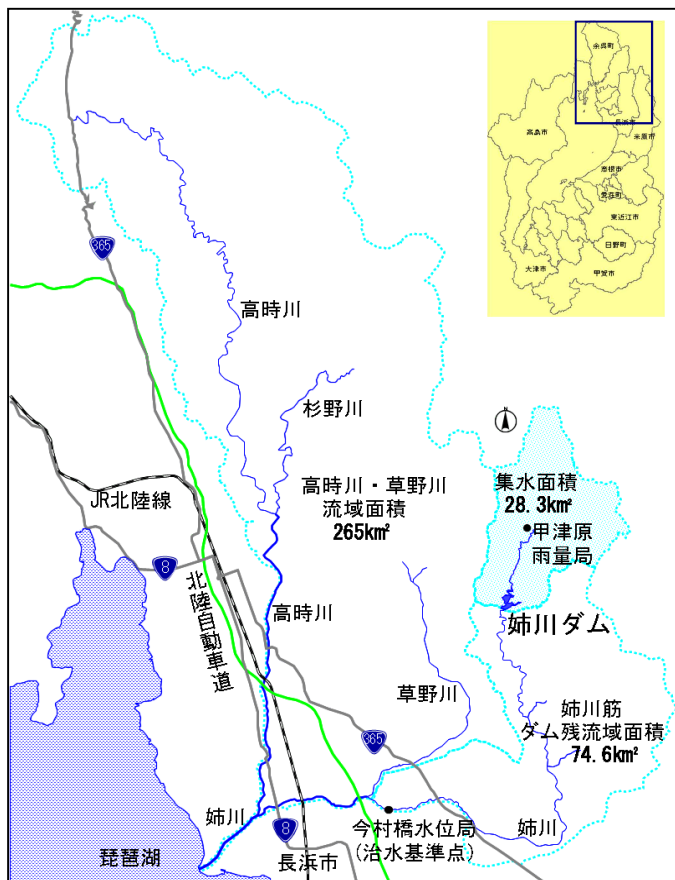
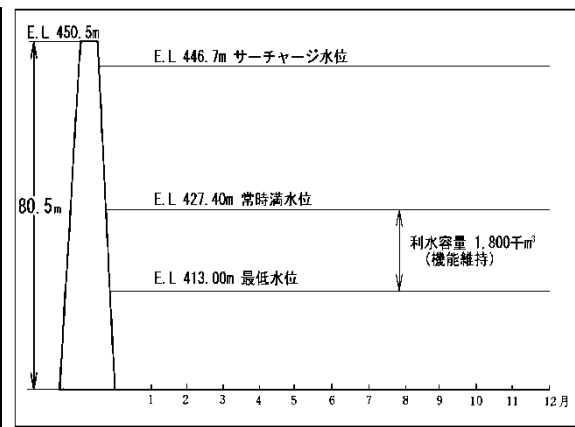


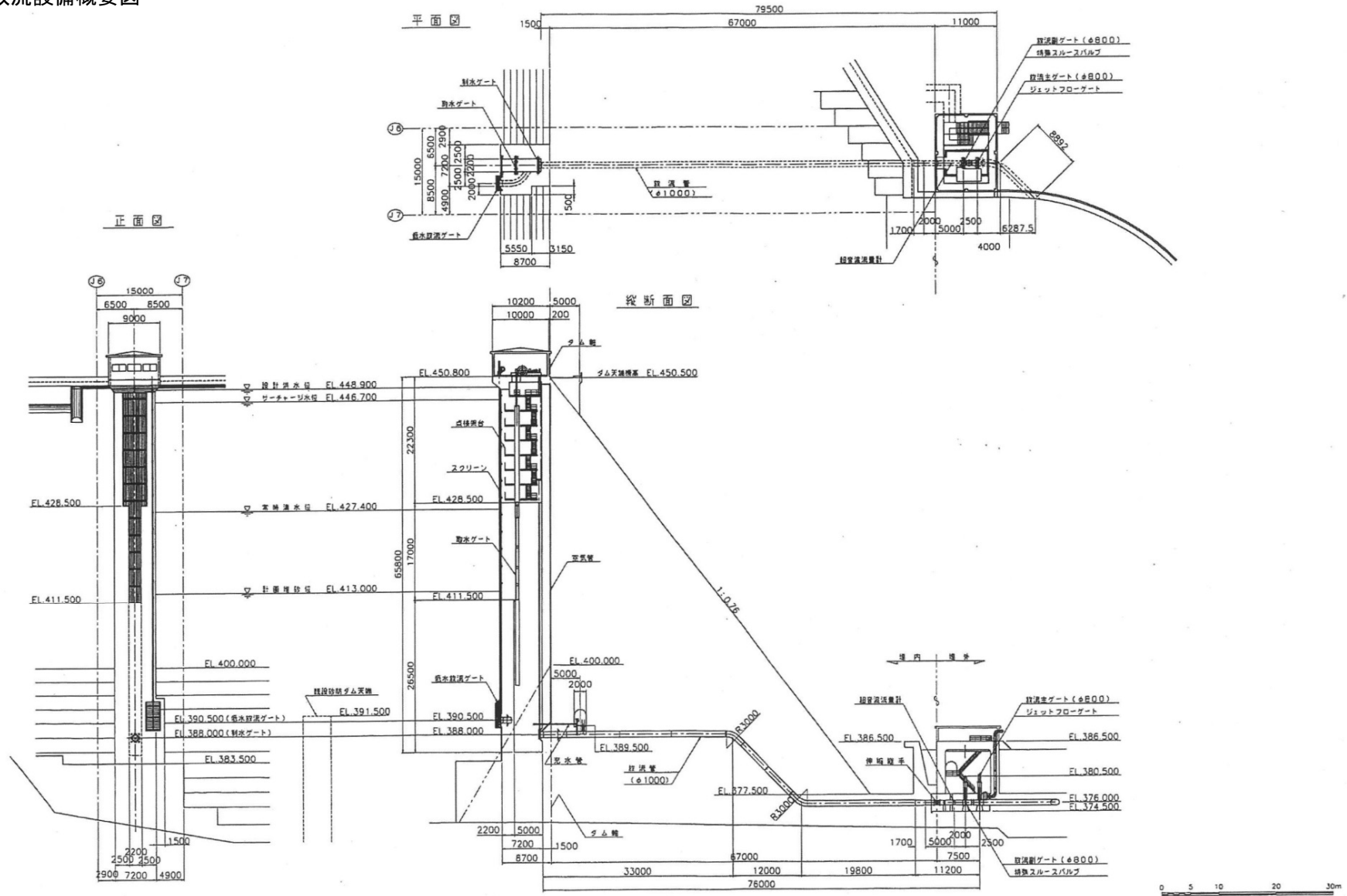
(別紙) 姉川ダム概要図



左岸所在	滋賀県米原市曲谷
河川	淀川水系姉川
目的	F,N(洪水調節、機能維持)
型式	G:重力式コンクリート
堤高	80.5m
堤頂長	225m
堤体積	307千m ³
流域面積	28.3Km ²
湛水面積	33ha
総貯水容量	7,600千m ³
有効貯水容量	6,500千m ³
ダム事業者	滋賀県
着手/竣工	1977/2002(平成14年)

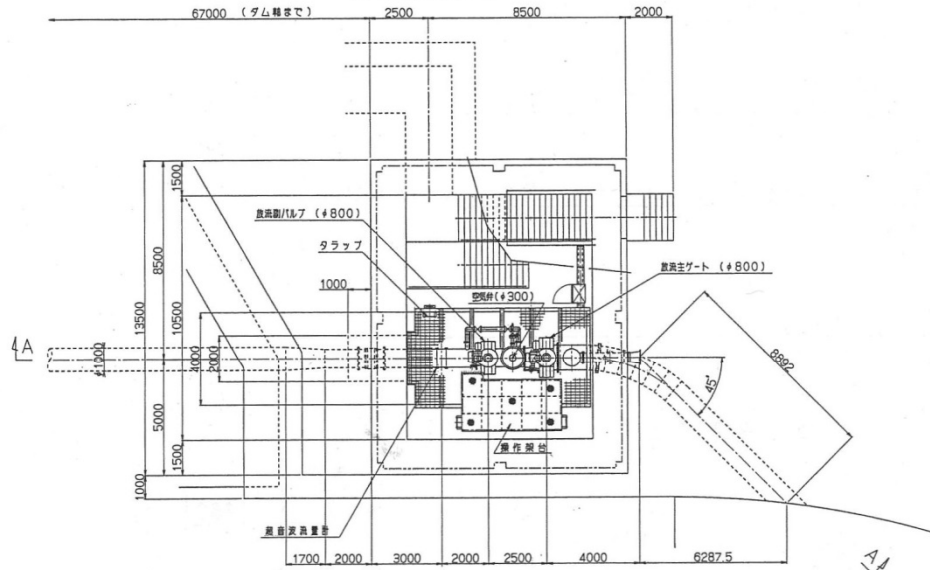


ダム放流設備概要図

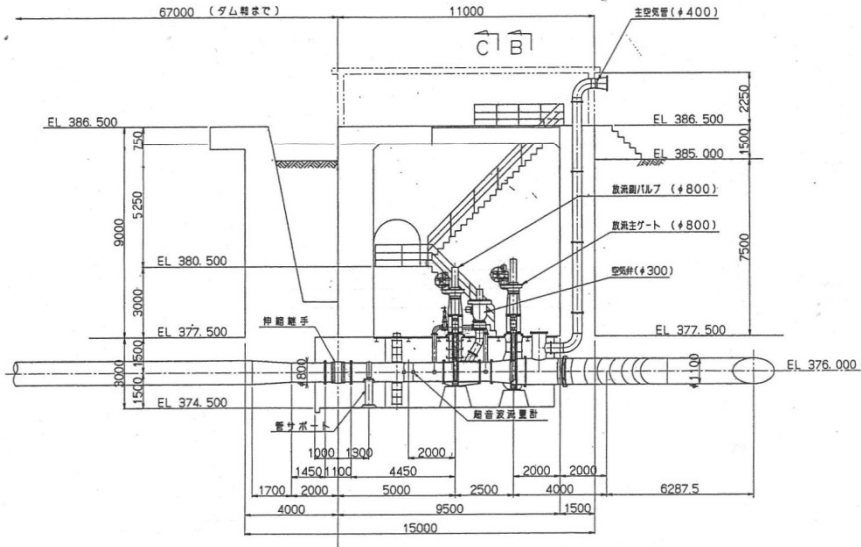


バルブ室詳細

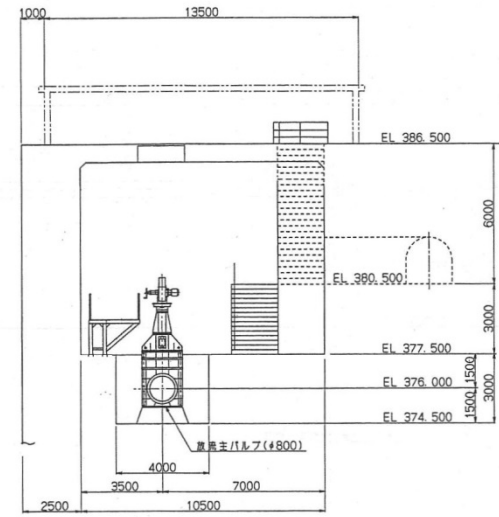
平面図 S=1/100



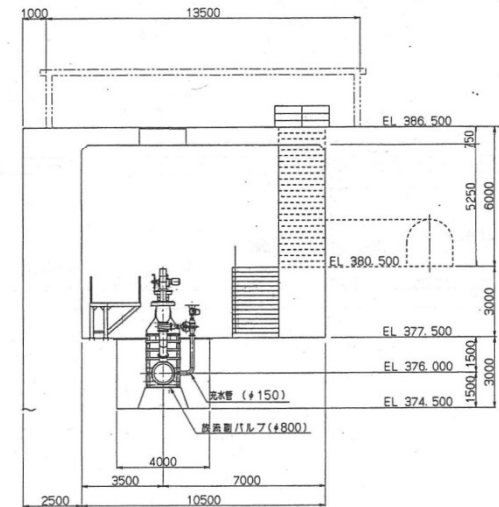
A - A S=1/100



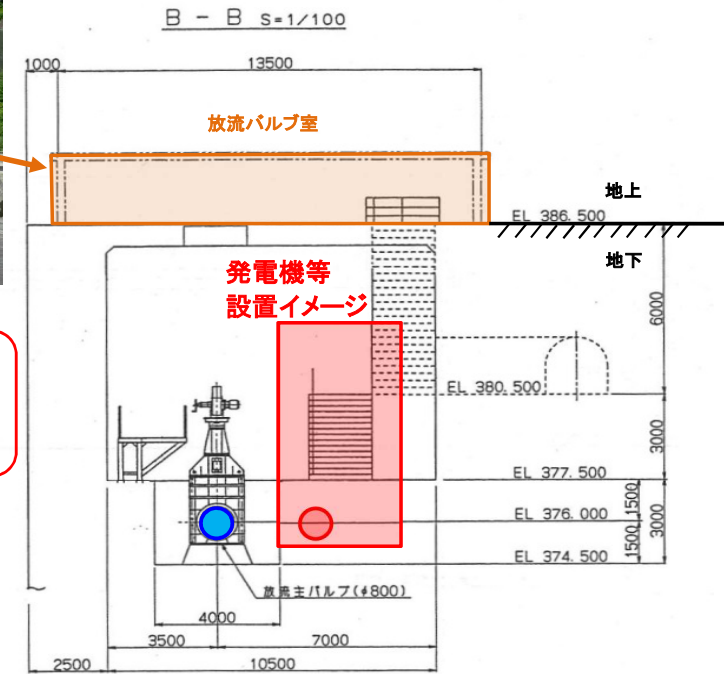
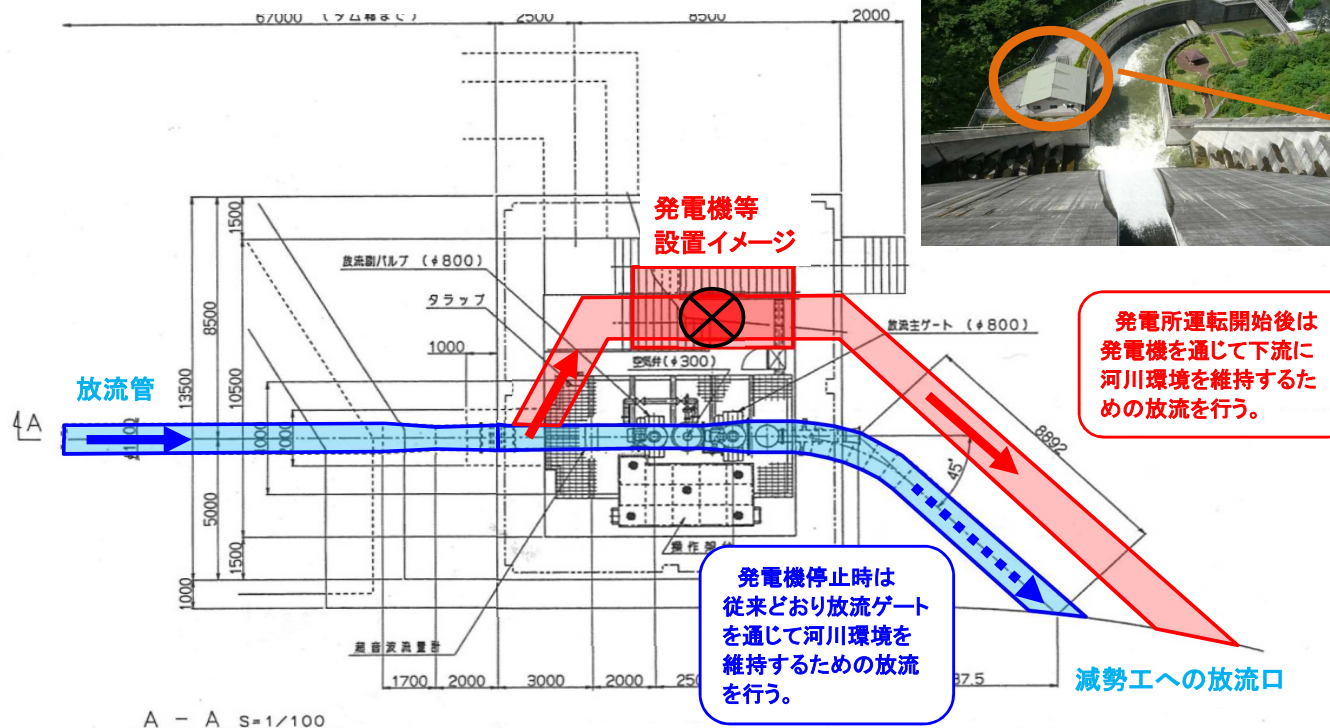
B - B S=1/100



C - C S=1/100

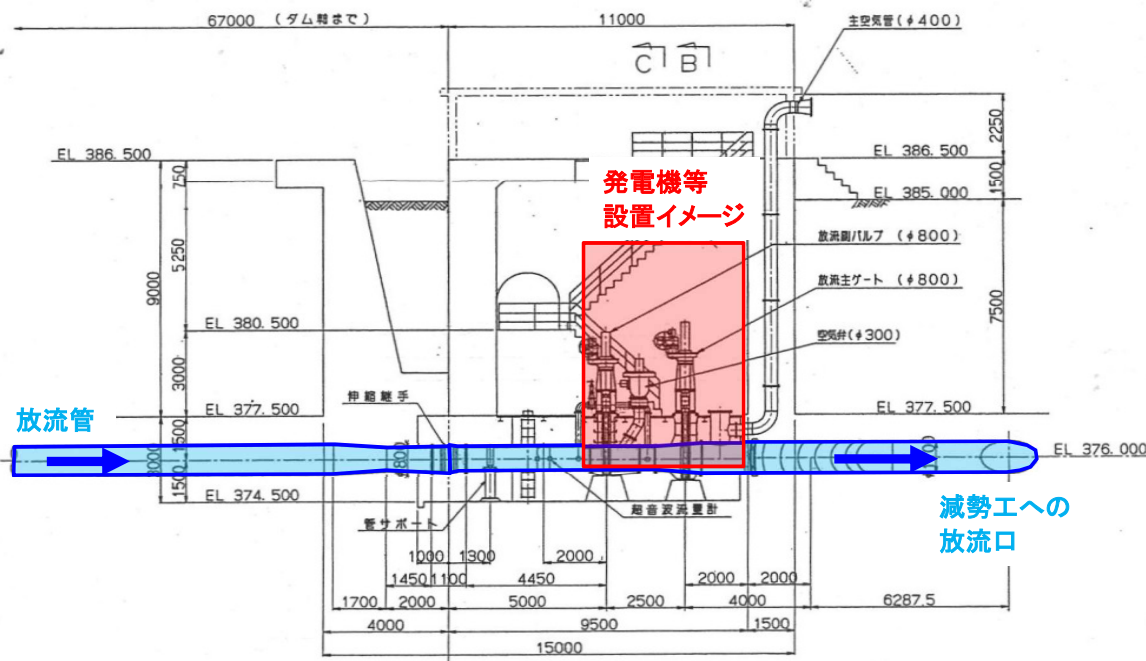


姉川ダム 水力発電所 基本となる考え方



発電所運転開始後は発電機を通じて下流に河川環境を維持するための放流を行う。

発電機停止時は従来どおり放流ゲートを通じて河川環境を維持するための放流を行う。



標準仕様	
① 工事施工計画の評価	<ol style="list-style-type: none"> 1) 分岐管設置時もダム下流への放流を可能とすること。 2) 減勢工内の工事は出水期を外した施工時期とすること。 3) 水際の工事は漁期を外した施工時期とすること。
② 分岐管等主要機器設計の評価	<ol style="list-style-type: none"> 1) 既設放流バルブを移設しない構造とすること。 2) 分岐管には分岐部から水車までの間にゲートを設置すること。 3) ゲート閉鎖に伴い放流管や取水塔に働く水撃圧を抑える構造とすること。 4) 分岐管のスラスト力を考慮した構造とすること。 5) 減勢工側壁の強度と安定に影響がない構造とすること。 6) 新しい流量観測システムを設計すること。 7) 河川管理者がダムの目的である下流河川への補給水を管理可能なシステムを設計すること。 8) 放流バルブ室の安定に影響を与えない設計とすること。
③ 維持管理運用計画の評価	<ol style="list-style-type: none"> 1) 管理技術者、現場施工業者を確保し、ダム近傍に配置していること。 2) 落雷時等緊急停止時に下流無放流状態にならないように放流経路を自動切替できるシステムとすること。 3) 緊急停止後、発電所運転再開時に滋賀県ダム管理事務所職員に負担をかけない仕組みを構築していること。 4) 発電所は原則、姉川ダム放流バルブ室の中とすること。